



## 創政みらい

質問者

おおつきたかし  
大月隆司議員



所属議員

あまの きいちろう  
天野喜一郎議員  
もりおか さとこ  
森岡聡子議員  
くわだ まさあき  
桑田昌哲議員  
にしな ふみひで  
仁科文秀議員  
くりお のりこ  
栗尾典子議員

当初予算からの財政調整基金の  
取崩しについて問う

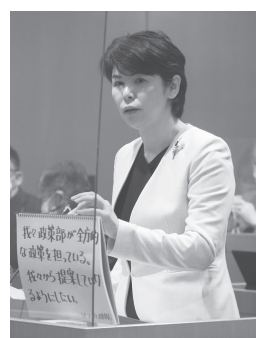
**議員** 市長はお金があると言っていたが、当初予算では、財源不足によって3億9千万円の財政調整基金を崩している。これについての見解をたずねる。

**総務部長** 収入が減るから取り崩すというのが基本的な考え方であって、見込みよりも収入増なら取り崩さなくても良い。ただ、歳出の面を見ると、福祉関係の扶助費等の義務的経費が、予想を上回るような伸びを示している。そうしたこともあり、当初予算では、担当課からの要求ベースで二十数億円の財源不足から予算編成がスタートした。義務的経費も増える中で市税は微増したが、財政調整基金について取り崩しを余儀なくされたという状況である。

100%を目指した  
義務教育を！

**議員** 子供の義務教育は常に100%でないといけない。少しでも不安要素があるならば、しっかりと対応していく必要があるが、見解をたずねる。

**教育長** 大事なことは、教育観。子供たちに対してどのような教育を提供していくか。そして学校観。学校はどうあるべきか、それを受けて学校像、どのような施設が必要なのかということを総合的に考えて、きちんと不安感を払拭する取組を含めて、対応するべきだと考えている。子供たちがつながりのある教育の中で成長すること、自身の認知能力を高め、他者と共存して社会で活躍できる人材を育てることができると考えている。



くりお のりこ  
栗尾典子議員



情報発信について問う

**議員** ソーシャルメディアの使用に関するルールを定めているのか。

**政策部長** 他市町は統一的なものをつくり始めている。新しくデジタル推進課の体制ができたら、全体にかかるコーディネーターの役割を果たしたい。

**議員** 本市のホームページにリンクの基準はあるのか。市長のフェイスブックは選挙活動に関わることなので本市のホームページからリンクを外すべきではないのか。

**総務部長** 公職選挙法に抵触するいろいろな事例を調べて、適切に対応できるようにしたい。リンク基準がどういうものかしっかり見て考えていきたい。

シティプロモーションについて問う



**議員** シティプロモーションは一貫性をもって展開しなければならぬ。市に対する共感や愛着が高ければ成立しない。市民意識を高めていく必要がある。笠岡のお勧めは何かと職員約40名に聞いたデータでは、一位はラーメン、二位は島、三位は干拓、四位はカブトガニ、五位は御嶽山。本市は何を売ろうとしているのか。ブランドイメージを高めるのも、市民も事業者も一体となってやるべきことだと思う。シビックプライド（まちの誇り）を熟成させていく作業をしていただきたい。

**政策部長** シビックプライドの醸成は非常に重要だと思う。内外両方に向けた施策に力を入れていくことが大切であると認識している。